

事業名	活力ある山村づくり事業費		調査番号	62
細事業名	森と湖に親しむつどい開催費	財務コード	426001	
担当部課室	森林環境部 森林整備課 森林計画 担当 (内線) 6157			

事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 - 年度		
実施主体	山梨県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	ダムや河川に水を供給している森林の働きを学ぶ機会が提供(確保)されている	森林の有する多面的機能や、その持続的発揮に資する森林整備の重要性を理解してもらう
内容	国土交通省と林野庁は、毎年7月21日から7月31日までの期間を「森と湖に親しむ旬間」として定め、都道府県等に対し期間中の普及啓発イベントの開催を要請している。 本県では、昭和62年度から県土整備部治水課と森林環境部森林整備課が共同で、地元市町村や関係各機関と連携しながら、荒川ダム(甲府市)、広瀬ダム(山梨市)、大門・塩川ダム(北杜市)、深城ダム(大月市)の4つのダムを持ち回りで毎年イベントを開催し、ダム見学等と共に木工体験や丸太切り体験、各種パネル展示等を実施することにより、森林の持つ働きを県民にPRしている。		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	イベント参加人数	目標	1,800(広瀬ダム)	650(深城ダム)	820(塩川ダム)	500(荒川ダム)	4,000(広瀬ダム)	730(深城ダム)	700(塩川ダム)
		実績(見込)	4,000	730	700	400	4,000	600	
		達成率	222%	112%	85%	80%	100%	82%	
		達成区分	a	b	b	b	b	b	
成果指標	アンケートによる参加者理解度(森林の役割についての理解度が「普通」以上と回答した人の割合)	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		実績(見込)	90%	83%	88%	98%	90%	96%	
		達成率	90%	83%	88%	98%	90%	96%	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算)単位:千円		132	130	296	255	249	279	279	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	実施場所毎に前回の参加者実績を活動指標の目標値として設定しており、達成率は100%と予定通りの活動量となっている。(広瀬ダムでは、隣接する道の駅での笛吹川源流祭りと同時に開催であり、他の開催地と比べて参加人数が多い)
成果指標	b		イベント参加者を対象に行ったアンケート結果において、90%が普通以上の評価としており、意図した成果はほぼ上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	参加者の興味を引き、わかりやすい出展内容となるよう工夫することにより、より一層の成果向上は可能と思われる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()
その他	説明	
見直しの必要性	有	展示パネルや配布パンフレットの内容が子供には分かりにくいといった声も寄せられているため、より幅広く県民の興味を引き、わかりやすく効果的に森林の機能を伝えていくために、出展内容に体験や視覚に訴える手法を導入する必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	森林土壌の水質浄化・浸透能の実験実施や、森林の有する多面的機能に関する資料映像を現在ダム事務所内で上映しているダム紹介映像と交互に放映するなど、出展内容を見直していく。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。